

みんなで

# 支援人

地域包括ケアシステム

## 「認知症サポーター」とは

市では、地域や企業を対象に講座を実施し、認知症について正しい理解と知識を身に付けた「認知症サポーター」(サポーター)を養成しています。

サポーターには、何か特別なことをしてもらおう訳ではありません。認知症の人やその家族を温かく見守る「応援者」



講座では認知症の人への接し方などをみんなで考えます

になることが期待されています。

例えば「認知症についての知識を友人や家族に伝えて広める」「認知症の人や家族の気持ちを理解するように努める」「自分なりにできる手伝いを実践するなど、自分のできる範囲で、応援をお願いします。

そして、認知症への理解とその支援者を増やしていくことで「認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる」「まちづくりを目指します。

## 養成講座で広がる認知症支援の輪

養成講座は、認知症についての一定の研修を受けた「キャラバン・メイト」と呼ばれる人が講師となり、「認知症とは何か」「認知症の人へ

の接し方と心構え」「サポーターができること」について学びます。

さまざまな地域や団体が養成講座を行うことで支援の輪が広がり、現在、市内には約8千人のサポーターがいます。

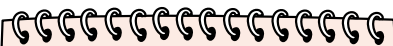
受講した人からは、「認知症の人への接し方を知ることができてよかった」「認知症は他人事ではなく、身近なものだと認識した」「サポーターとして積極的に活動していきたい」などの感想があります。

## 地域や職場へ講師を派遣します

養成講座を開催したい場合、受講希望者がおおむね10人以上であれば、希望の日・場所に講師を派遣します。地域の集まりや仲間同士の勉強会、学校や職場での研修など、受講者に応じた内容で実施します。

まずは、認知症について正しい知識を持つために、「認知症サポーター養成講座を受講してみませんか。

認知症は、誰もが起こる可能性のある症状です。認知症になっても、周囲の理解と気遣いがあれば、住み慣れた地域で穏やかに生活することができます。今回は、認知症の人やその家族の応援者を育成する「認知症サポーター養成講座(養成講座)」について紹介します。



## 認知症の人への対応のポイント

- ・まずは見守る
  - ・余裕をもって対応する
  - ・声をかけるときは1人で
  - ・後ろから声をかけない
  - ・相手に視線を合わせてやさしい口調で
  - ・おだやかに、はっきりとした話し方で
  - ・相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する
- (認知症サポーター養成講座標準教材より)



受講者に配布する「認知症サポーターカード」

このように、既存の活動やつながりを大切にしつつ、地域に関わるさまざまな人や団体ができる範囲で支え合う、まちづくりが広がっていく姿は、まさに地域包括ケアシステムであり、市でもこのような取り組みが広がるよう努めています。

岡高齢者支援課